

都市ガス用検圧プラグ

Testing Plug for City Gas Supply

一般家庭などに設置されている都市ガス用ガスメータを取り替える際、ガスメータの下流側に設置された検査用の継手にねじ込まれているプラグを取り外して、配管内の空気のパージ作業と気密検査を行う必要がある。この作業は手間がかかるので、保安の確保という点も考慮した作業の簡略化に取り組み、ノーブロー化を実現した検圧プラグ（図1）と専用工具（図2）を開発した。

検圧プラグは図3に示すように検査用の継手にねじ込まれている。

検圧作業前には、フタを取り外し、コンセントアダプター（図2）を取り付けるが、弁体によりシールされており、ガスの外部への流出を防ぐ。その後、迅速継手を取り付けることにより弁体を押されて流路が開き、配管内の残留空気のパージ作業と気密検査を安全に行うことができる。

1. 構造

検圧プラグの構造を図4に示す。内部の2箇所のOリングとパッキンでの三重シールとなっている。またガス流量も多く流すことがで

きる。フタを取り外す際の施工の容易さも考慮した。

2. 用途・仕様

都市ガス低圧配管。（15kPa以下）
適用口径：15A（R1/2ねじ）

3. 特長

コンパクトで、優れた気密性と耐久性を実現。
専用工具の採用により、いたずら防止機能を付加。
検圧作業のノーブロー化により、時間短縮と安全性を実現。
（配管機器カンパニー）



図1 検圧プラグ
Fig. 1 Testing Plug.



図2 専用工具
Fig. 2 Original Tool.

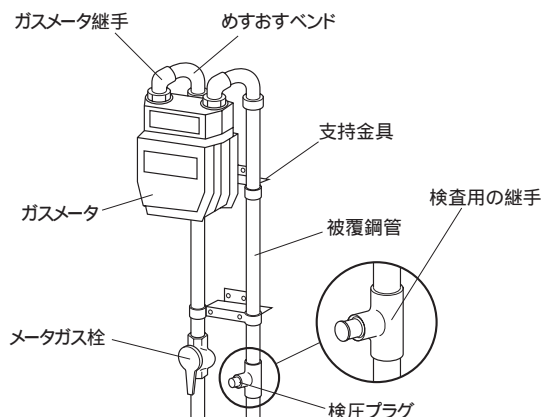


図3 設置例
Fig. 3 Installation example.

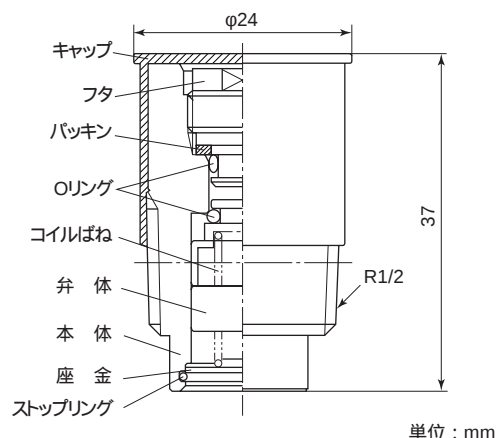


図4 検圧プラグの構造
Fig. 4 Structure of testing plug.